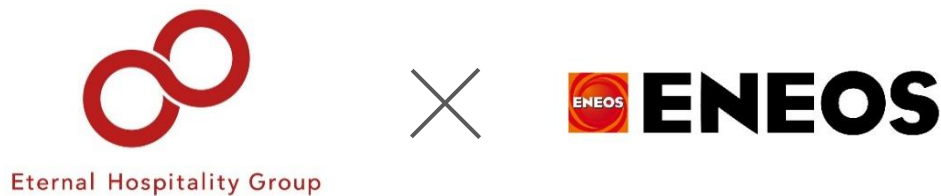


2025 年 9 月 2 日

株式会社エターナルホスピタリティグループ

エターナルホスピタリティグループと ENEOS、 航空燃料の原料への廃食油再活用に関する連携協定書を締結

株式会社エターナルホスピタリティグループ傘下の、株式会社エターナルホスピタリティジャパン（本社：大阪市浪速区 代表取締役社長：青木繁則）は、ENEOS 株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：山口敦治）と、廃食油を持続可能な航空燃料（以下、「SAF」）の原料として活用する取り組みに関する連携協定書を締結しました。



・取り組みの概要

このたびの協定締結は、当社グループの事業にて排出される廃食油を国産 SAF^{※1} の原料として有効活用することで、航空業界の脱炭素化に貢献することを目的としています。

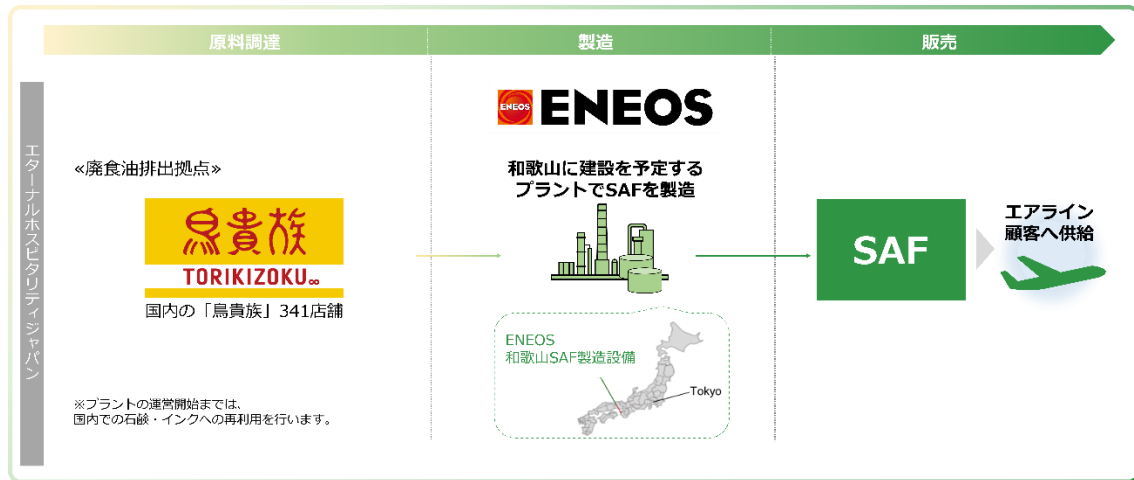
具体的な取り組みとして、国内に展開している焼鳥屋「鳥貴族」のうち、対象の 341 店舗^{※2} から排出される廃食油を回収し、将来的には ENEOS 株式会社が事業化を進めている国内最大規模のバイオ燃料製造プラント（和歌山県有田市）で原料として使用する予定です。

当社グループでは、企業理念である「焼鳥屋で世の中を明るくしていきたい」という想いのもと、引き続き、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

※1 SAF とは、「持続可能な航空燃料（Sustainable Aviation Fuel）」の略称。従来のジェット燃料が原油から精製されるのに対し、SAF は主にバイオマスや廃食油等を原料として生産されます。

※2 主に東海・関西エリアの対象店舗（一部他地域含む）

【廃食油活用の流れ（イメージ）】



＜株式会社エターナルホスピタリティグループ 概要＞

所 在 地：大阪市中心区淡路町 4-2-13-20F

代 表 者：代表取締役社長 CEO 大倉 忠司

設 立：1986 年 9 月 19 日

事業内容：グループの経営戦略策定、経営管理及びそれに付随する業務

＜株式会社エターナルホスピタリティジャパン 概要＞

所 在 地：大阪市中心区淡路町 4-2-13-20F

代 表 者：代表取締役社長 青木 繁則

設 立：2025 年 5 月 15 日

事業内容：国内における焼鳥事業の企画・推進及び運営会社の管理

＜ENEOS株式会社 概要＞

所 在 地：東京都千代田区大手町一丁目 1 番 2 号

代 表 者：代表取締役社長 山口 敦治

設 立：1888 年 5 月 10 日

事業内容：石油製品（ガソリン・灯油・潤滑油等）の精製および販売、ガスの輸入および販売、石油化学製品等の製造および販売、水素の供給